

自民党の国会議員団が視察

6月6日、自民党議員団がJETの視察にいらっしゃいました。

来校したのは、自民党の文部科学部会(山本ともひろ部会長)内におかれた「日本語教育の今後の方向性に関する検討プロジェクトチーム」の国会議員7名と、文化庁次長、文化庁国語課長、出入国在留管理庁の在留管理課長らの総勢20名近く。

Cクラス(竹川先生)とFクラス(得猪先生)の授業を見学した後、議員からCクラスの学生に、日本留学の動機や日本の生活状況などについてインタビューがありました。



↑Cクラスで、学生にインタビューをする視察団

学校の説明には、越野理事長、井上専務理事、山口校長があたりましたが、昼食には金美齢名誉理事長も加わり、活発な意見交換をしました。進学クラスではアルバイトを禁止していることや、日本語能力試験の高い合格率などを校長が説明すると、議員たちからは驚きの声があがっていました。

部会が法案化を目指す、日本語教育機関の認定と日本語教師の国家資格化に向け、日本語学校と日本語教育の在り方について認識を深めていただくよい機会になりました。



前列左から山口校長、柴山昌彦議員(日本語教育推進議員連盟会長)、金美齢名誉理事長、山本ともひろ議員(部会長)、井上専務理事。
後列右から越野理事長、高木啓議員(JET 副理事長)、赤池誠章議員(内閣府副大臣)、笹川博義議員(座長代理)、三谷英弘議員(事務局長)、宮内秀樹議員(座長)

新入生 37 名を迎え 新学期

例年より少ない新入生ですが、新学期らしい活気が久々に学校に戻ってきました。

今学期は、4月1日にクラス分けテストを行いました。全7クラス編成で、進学科(A1、A2、B)は5日から、基礎科(C〜F)は18日から授業がスタートしました。(3面に関連記事)

3月から入国制限が緩和され、学生の入国が5月まで続いたため、4月4日の入学式はオンラインで実施しました。新入生

は、Zoom上で言語別に分かれ、山口校長と井上専務理事、そして越野理事長から歓迎の挨拶を受けました。在校生のVu Thi Hong Nhungさん(ベトナム)と、卒業生の胡元寧さん(台湾)、尹暎曠さん(韓国)、Phansuwan Chaichumphonさん(タイ)、Brian Salimさん(インドネシア)、Rahel Gabriela Laotonganさん(インドネシア)の計6名が各言語の通訳にあたりました。

4月期の総学生数は60名です。国籍別の割合は、台湾が45%、インドネシアが13%、タイが12%、香港が10%、韓国が8%、その他(マカオ、ネパール、ベトナム、マレーシア、ミャンマー)が12%です。

2年ぶりの遠足、いざ鎌倉へ

「歩いて」学ぼう! 「触れて」学ぼう!

5月20日、春の遠足で鎌倉へ行ってきました。コロナ禍により中止が続いていたため、今回が2年ぶりの実施でした。

クラス毎に、浄智寺から高德院へと続くハイキングコースを登りました。長きにわたる自粛生活で、すっかり運動不足の学生もちらほら。山あり谷ありの道のりに苦戦しつつも、クラスメート同士励まし合いながら、なんとかゴールまで辿り着くことができました。

行き交う人に日本語で挨拶したり、道すがら見つけた花々の写真を撮ったりするなど、オンラインではできなかった体験を目いっぱい楽しんだ学生たち。余韻は翌週まで残り、「ハイキングは大変だったけど、クラスメートや先生たちと一緒にに行けて嬉しかった!」、「秋の遠足が今から楽しみ!」といった感想を、目を輝かせながら聞かせてくれました。



↑源氏山公園で出会った柴犬にメロメロ。

クラスの親睦が深まるとともに、実地で学ぶことの大切さに気づかされる一日になったようです。



↑「あと100m!」「いけるいける!」
皆で高德院にゴール!(Eクラス)

「今の勉強を大切に」先輩からのエール 進学科座談会

5 月 2 日、大学・大学院に進学した卒業生を招いて、座談会を行いました。学部文系は完全対面、学部理系と大学院はハイブリッドで実施しました。

参加してくれた卒業生は 10 名です。学部文系の座談会には、Wan Liang Jia さん(マレーシア・中央大 4 年)、Mahesa Pamungkas Sugiharto さん(インドネシア・明治大 2 年)の 2 名。学部理系の座談会には、Asa Satyagraha さん(インドネシア・東京理科大 3 年)、Jonathan Virya Setyawan さん(東海大 2 年)、Laura Lee Zi Lyn さん(マレーシア・東京農業大 1 年)、そして、今春大学を卒業し、日本就職が決まった Ferdinand Aldi さん(武蔵野大 22 卒)の 4 名。大学院の座談会には、オンラインで、新社会人の廖悦廷さん(台湾・日本大学大学院修士課程修了)、姜光勇さん(韓国・成蹊大学大学院修士 1 年)、陳柏仲さん(台湾・青山学院大学大学院修士 2 年)の 3 名、対面で洪偉傑さん(台湾・青山学院大学大学院修士 2 年)の計 4 名が参加してくれました。

昨年に引き続き参加してくれた Wan さん、Mahesa さん、Asa さんは、さすが慣れたもので貫禄十分！Aldi さんと Jonathan さんはオンラインでの初参加です。流暢な日本語で話す先輩方も、「JET での受験の日々を重ねてきての今です。学校での勉強を大切にしてほしい。」と力強く話してくれました。大学 1 年生から社会人 1 年目までの先輩たちの話に、大いに励まされていたようでした。今回の座談会の成果が結果となって出てくることを大いに期待したいです。(木村)

奨学生の追加募集に 2 名推薦

本年 1 月、コロナ禍の入国制限で学生がおらず、見送りとになった高山国際教育財団奨学生の推薦でしたが、この度の入国制限緩和に伴い、追加募集で 2 名の推薦依頼をいただきました。財団の詮議を経て、7 月に正式決定の見込みです。

北区日本語 本格始動！

5 月 10 日から、北区の日本語教室がはじまりました。昨年度から準備をはじめ、ようやく、行政と日本語学校が連携して行う「北区モデル」の教室のスタートとなりました。学習者約 25 名に、サポーターと呼ばれる地域のボランティアの方 4 名と日本人大学生 1 名が加わり、初回の授業を行いました。

初めは緊張気味だった学習者の方々も、家族の話になると笑顔が増え、日本語でのおしゃべりを楽しむ姿が見られるようになってきました。「楽しいので隣の人を連れてきました！」と飛び込みの参加者がいたり、「近所のオススメのお店」を紹介しあったり、地域ならではの様子が見られます。(山口)

桜美林大からインターン生 2 名

4 月から一か月間、桜美林大学の学生 2 名をインターン生として受け入れました。週一回、授業見学をしながら、学校の事務などを手伝っていただきました。

2022 年度前期就職セミナー始まる

4 月 25 日、日本語学校を卒業後に日本で就職を希望する学生のための就職セミナーが始まりました。希望者は 10 名(台湾、香港、韓国、タイ、インドネシア、ベトナム)。

5 月 16、23、30 日には、(株)Asia Link から迎えた井上洋輔講師の完全対面式連続講座で、自己分析、自己 PR と履歴書の書き方、面接の受け方を学びました。講座の翌日に早速スーツを買いに行き、長髪をバツサリ切った学生に、郷野先生が「清潔感が増えましたね」と声をかけたところ、「ハイ、就活に向けて整えました！」との答えが返ってきました。

現在、各自履歴書の完成に余念がありません。2023 年春の就職に向けて、走り始めました。日本の就職活動は長期戦。JET も伴走しますよ。(得猪)



←履歴書の書き方はこれでいいでしょうか！

就活のための「特定活動ビザ」3 名が認定

本年 2 月に、JET 日本語学校卒業後も就職活動ができる「特定活動」ビザが出入国在留管理局(入管)から認められるようになり、5 月末現在で計 3 名(台湾 2 名、韓国 1 名)の留学生在が資格変更しました。

審査に当たっては、日本語学校在籍中に就職活動を行っていたかどうかを重要視されるということです。

後援会会費納入のお願い

JET 日本語学校後援会は奨学金・学習奨励金の給付等、本校で学ぶ学生達を支援しています。遠足などの補助金は、後援会からの支出によるものです。コロナ禍においては、入国時の学生サポート(隔離期間の食糧や、空港からの移動費等)に活用させていただきました。

2021 年度は、延べ 10 名の方から 66,000 円のご支援をいただきました。本校の教育事業にご賛同いただける方は、会費を納入していただければ幸いです。

年会費：3000 円 賛助会費(一口)：2000 円

郵便為替口座:00140-1-101927 JET 日本語学校後援会

★★★

海外からのお振込みの場合は、手数料のかからない決済代行サービス flywire をご利用いただけます。

<https://www.flywire.com/pay/jet-academy/>

全学生が入国 完全対面授業へ

5 月を以て、今期の全学生が入国し、完全対面授業となりました。念願の来日が叶った学生たち。日々の授業だけでなく、伝統芸能鑑賞や「よむよむ会」(校内の多読会)といったアクティビティにも積極的に参加しており、熱意をひひしと感じます。

3 月に卒業したオンラインの学生たちも続々と入国し、学校に顔を出してくれています。学生同士、「直接」会うのは初めてでも、一緒にこの苦難を乗り越えた絆は強固なものです。元クラスメートと、日本に来て感じたギャップや、大学生活について楽しそうに語り合ったり、教室へ行って、「対面だったらこんな感じかな」と、授業の様子を再現したりしていました。またいつでも遊びに来てね！みなさんの夢を心から応援していますよ。(郷野)



↑3 月の卒業式で卒業生代表挨拶を務めた Choon さん(マレーシア)に、山口校長から卒業証書と皆勤賞、校長賞が授与されました。



↑元 D クラスの Brandon さん(アメリカ)と梁永榮さん(香港)。担任の山下先生と、ショートコント「授業」。

早大生らとオンラインイベント

4 月 9 日、早稲田大学の国際交流サークル WIC 主催のイベントに、JET の学生が参加しました。来日してすぐ、授業開始前というタイミングでの募集でしたが、3 名の学生が是非参加してみたいと申し込みの連絡をくれました。

初めてのイベントを終えて、「大学生の話が、全部はわからなかったけど、楽しかった」、「次のイベントにもぜひ参加したい」との感想が寄せられました。

今年度初めての交流イベントでしたが、これからの留学生活に向けて、モチベーションアップに繋がる良い機会になったことでしょう。大学生の皆さん、ありがとうございました。(郷野)

果物王国台湾から「夏」が届いた！

台湾の卒業生から、初夏を感じる美味しいプレゼントが届きました。たわわな愛文マンゴーは黄一絢さん(2000 年卒)から、瑞々しいライチは呉杰さん(2011 年卒)からいただきました。ありがとうございました！



学 校 日 誌

○4 月 1 日 クラス分けテスト

○4 月 4 日 オンライン入学式 [3 面]

○4 月 9 日 WIC オンラインイベント [3 面]

○4 月 15 日 **EJU チャレンジ模擬試験**

12 名が受験しました。全国での成績上位者として、日本語では何婉萱さん(台湾)、記述では王婉心さん(台湾)と蕭毅さん(台湾)が名を連ねました。

○4 月 25 日 就職セミナー ガイダンス [2 面]

○4 月 29 日 東京国際音楽祭 2022 ジャズマラソン [4 面]

○4 月 30 日 佐々木真バロック音楽コンサート [4 面]

○5 月 2 日 進学科座談会 [2 面]

○5 月 10 日 北区日本語教室開講 [2 面]

○5 月 16 日、23 日、30 日 就職セミナー [2 面]

○5 月 18 日 演劇「友情」[4 面]

○5 月 20 日 春の遠足 [1 面]

○5 月 27 日 **JLPT チャレンジ模擬試験**

7 月 4 日の試験に向けて、16 名が受験しました。

○6 月 6 日 自民党議員団視察 [1 面] 歌舞伎鑑賞教室 [4 面]

《今後の学校行事予定》

○6 月 11 日 WIC 日本教室

○6 月 14～16 日 東京都立小石川中等教育学校職場体験

○6 月 19 日 WIC ショートホームステイ

○6 月 24 日 能楽鑑賞教室、順天高等学校との交流会

○6 月 27 日 企業経営者との意見交換会

○6 月 28 日 漢字クラス 進級テスト

○7 月 6 日 大学生(WIC)との交流会

○7 月 8 日 研究計画発表会

○7 月 10 日 NEIGHBOR 合同イベント

○7 月 18 日 高田馬場管弦楽団 第 100 回定期演奏会

○7 月 27 日 歌舞伎鑑賞教室

○7 月 29 日 第 27 回 校内スピーチコンテスト

前期の日本事情講座 スタート！

6 月から日本事情の授業が始まります！今期も、昨年度の開講以来大好評の、「なつみの台所」(山下先生)、「和紙と遊ぼう！」(竹川先生)、「絵本作家になろう！」(郷野先生)の 3 講座です。

「なつみの台所」では、日本の定番家庭料理を作ります。元気な体は食事から。前回受講した弟子たちに話を聞いたところ、「最近も、習った料理を作りました！」と教えてくれました。今回の授業は、新メニューがあるそうです。「和紙と遊ぼう！」では、和紙を染めたり糊ったりして、あたたかみのある自分だけの作品を作ります。「絵本作家になろう！」では、オノマトペや慣用句といった表現と、絵のレッスン、そして絵本の製本までを行います。

今期はどんな素晴らしい料理人、職人、ストーリーテラーが誕生するのでしょうか。楽しみで仕方ありません。

金美齡名誉理事長、留学生に喝！

6月6日、自民党国会議員の日本語学校視察に合わせて、金美齡名誉理事長がJETにいらっしゃいました。先生のご来校は、実に数年ぶり。学生たちは、授業後に、一目会いたいと理事長室に詰めかけました。

金先生は、「米寿ですけどね、若いころは美人だったのよ～」と笑わせながら、自らの好奇心全開で歩んできた道のりのなか、ネット予約のない留学生当時、好きな歌舞伎を見るために徹夜で並んだことや、往年の大テノール、マリオ・デル・モナコのオペラを生で見た経験にふれ、「現場に立て」、「体験せよ」と喝を入れてくださいました。上級の学生はもちろん、初級の学生たちも真剣に耳を傾けていました。ある学生は、「すごく特別な感じです。迫力ありました。」と、感想をもらしていました。(得猪)



←金先生の聲掛けがいに接する学生たち

ア ク テ ィ ビ テ ィ

○「東京国際音楽祭 2022」JAZZ マラソン 7 時間半、完走！

4月29日、越野理事長のお招きで、東京国際音楽祭 2022(太田文化の森ホール、日本ジャズ協会 21 主催)に、2名の音楽好き学生が参加しました。

「ジャズマラソン」と銘うたれた初日は、5組のジャズ歌手や演奏家が休憩をはさみながら次々登場し、演奏は朝から夜まで続きました。一日中どしゃぶりで外にも出ず、Akram さん(メーリア)はちょうどイスラムの断食期間中のため飲まず食わず。

「3人で270歳のミュージシャン達とセッションした、16歳あおいさんの演奏と勇気に感動した」と語り、音楽家活動歴のある Nicolaus さん(インドネシア)も、「お客様に対する態度が素晴らしいし、ステージの臨場感が壮大で、改めて自分の目標を目指すことができると思った」と、二人ともたっぷりジャズ漬けになった一日でした。(得猪)

○佐々木真バロック音楽コンサート

4月30日、アーティストサロン Dolce(新宿)にて開かれたコンサート「どうぞバロック音楽を！」(主催：みゆずメゾン)に出かけました。たくさんご招待くださったのは、フルートの佐々木真さん(日本フルート協会会長)。昼の部に5名、夜の部に5名が、休日の典雅なひとときを満喫しました。

夜の部のインドネシア学生3人はコンサート初体験で、「日

本のドラマでコンサート場面を見たけど、実際に行くとこんなに違うってびっくりしてドキドキするうれしさを感じた」(Matthew さん)、「チェロの村上曜さんのレクチャーも楽しかった。いつか日本語が上手になったらもっと音楽のレクチャーに参加したい」(Joanna さん)、「楽器を弾く者として、生演奏を聴けて刺激的で感動した」(Galvina さん)と、熱く語りました。佐々木さんご夫妻からは、「受験勉強がんばってくださいね」と励ましをいただきました。いつもお招きありがとうございます。(得猪)



○演劇『友情』 越野理事長、高木副理事長、医師になる。

5月18日夕方、北とぴあホール(北区王子)へ、中上級クラス10名の学生と観劇に出かけました。

『友情～秋桜のバラード～』という、日本では20年以上にわたって上演されているお芝居で、主人公の女子中学生の主治医として越野理事長が登場しました。(5月16日は高木けい副理事長が医師として出演) 学生たちは、日本語舞台2時間半を初体験しました。「最後のみんなが歌いながら泣くシーンでわたしも泣いてしまった。越野理事長は医師の格好がとても似合いますね。」(張婷雯さん・台湾)、「自分は友だちのためにどこまでやれるか。ハッピーエンドではないけど、最後の歌は悲しくない。人生はそんな仲よい友達がいたらもう十分です。出会ったのは必ず縁があるから、この演劇を見て周りの人のできる限り大切にしたいと思った」(鄧承進・香港)

さあ、次は何を見に行きましょうか。(得猪)



←越野理事長中央は、お風呂でセリフを練習したそうです。

○歌舞伎鑑賞教室

6月6日、学生9名と歌舞伎鑑賞教室(国立劇場)へ行ってきました。演目は、「彦山権言誓助剣一毛谷村」。今回の座席はなんと一階の正面最前列。学生は演者の迫真の演技と、マイクを使わない声量に終始圧倒されていました。

参加者のほとんどはやっとな来日が叶った学生で、全員が初めての歌舞伎鑑賞でしたが、その世界観を存分に感じる事ができたようです。(山下)

